令和７年度（2025 年度）入学者選抜の実施に係る第５次公表（予告）について

山口県立大学では、令和７年度（2025 年度）入学者選抜に係る変更について、４回にわたり公表（予告）してきた（第１次：2022 年７月４日、第２次：2022 年 11 月 14 日、第３次：2023 年６月 30 日、第４次：2023 年 11 月 30 日）。

このたび、これまでの公表（予告）内容に以下のとおり変更が生じたことから、第５次公表（予告）として通知する。

１　一般選抜における教科・科目選択の補足説明の追加［7～12 ページ］

２【参考】一般選抜における大学入学共通テストの教科・科目選択についての追加［13 ページ］

第１次予告（2022 年 7 月 4 日公表）
第２次予告（2022 年 11 月 14 日公表）
第３次予告（2023 年 6 月 30 日公表）
第４次予告（2023 年 11 月 30 日公表）
第５次予告（2024 年 2 月 16 日公表）

令和７年度（2025 年度）入学者選抜の実施について

社会全体でデジタル化が急速に進められる中、これから地域や企業の課題解決等に取り組むうえで、デジタル技術を活用して新たな価値を生み出す人材の育成が急務である。

とりわけ、デジタル技術者と協力して well-being な考え方に立ち、ひとや地域（まち・文化・教育）の課題解決のために貢献できる人材（文系 DX 人材）が求められている。

そのため、山口県立大学では、令和７年４月から、国際文化学部に新たに「情報社会学科」を設置し、従来の人文系国際文化学の強みを維持しながら、地域社会の未来をリデザインし、人々の暮らしの DX 推進に貢献できる人材 を育成することを計画している。

併せて、既存の国際文化学科・文化創造学科においても、データやデジタルに強い文系 DX 人材を育成する科目を置き、ニューノーマル時代を見据えた授業デザインにより、ICT 活用を推進する教育を行う。

このことにより、現在の国際文化学部及び社会福祉学部の収容定員を、以下のとおり変更する予定である（図表１）。

図表１　定員の移行表

変更前

国際文化学部	入学定員	収容定員
国際文化学科	62	248
文化創造学科	52	208
計	114	456

社会福祉学部	入学定員	収容定員
社会福祉学科	103	412
計	103	412

変更後

国際文化学部	入学定員	収容定員
国際文化学科	50	200
文化創造学科	45	180
情報社会学科（設置計画中）	40	160
計	135	540

社会福祉学部	入学定員	収容定員
社会福祉学科	87	348
計	87	348

※看護栄養学部（看護学科、栄養学科）の変更はありません。

また、これらのことを踏まえ、令和７年度（2025 年度）からの入学者選抜を次のとおり実施することとしている。

なお、このたびの公表内容はあくまでも予定であり、今後内容が変更となる可能性がある。

変更があった場合は、随時本学のホームページにて通知する。

１　基本方針

山口県立大学が定めた「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」に基づき、「学力の３要素」である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

２　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1)　国際文化学部 国際文化学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、国内外の多様な文化や価値観について学ぶための基礎的な知識や理解力と語学力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

国内外における多様な文化や価値観について自分の考え・意見をまとめ、論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と信頼関係を構築し、地域の国際化や多文化共生に積極的に挑戦しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜					学校推薦型選抜							総合型選抜			外国人留学生選抜		
		前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠									
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	小論文	面接	大学入学共通ﾃｽﾄ	面接	小論文	面接	調査書	小論文	面接	調査書	活動報告書	1次選抜 自己推薦書	2次選抜 講義理解力試験	2次選抜 面接	日本留学試験	小論文	面接
素点		700	200	100	700	200	150	100	50	150	100	50	100	100	200	100	総合的に評価する		
評価の比重(*1)		70	20	10	78	22	50	33	17	38	25	13	25	100	67	33			
評価の観点	《知識・技能》	○	○		○		○		○	○		○			○		○	○	○
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○		○	○		○	○	○	○	○	○			○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(2)　国際文化学部 文化創造学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、地域文化の探求と創造について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

ことばや絵・デザインなどの情報を駆使して、日本文化や地域文化の価値について、みずからの思考や判断を伝え表現することができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と交流し、地域文化の活性化に貢献しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜					学校推薦型選抜							総合型選抜			外国人留学生選抜		
		前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠									
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	小論文	面接	大学入学共通ﾃｽﾄ	面接	小論文	面接	調査書	小論文	面接	調査書	活動報告書	1次選抜 自己推薦書	2次選抜 個人プレゼンテーション	2次選抜 面接	日本留学試験	小論文	面接
素点		700	150	50	700	200	200	100	50	200	100	20	80	100	200	100	総合的に評価する		
評価の比重(*1)		78	17	6	78	22	57	29	14	50	25	5	20	100	67	33			
評価の観点	《知識・技能》	○	○		○		○		○	○		○			○		○	○	○
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○		○	○		○	○	○	○	○	○			○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(3)　国際文化学部 情報社会学科のアドミッション・ポリシー（設置計画中）

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、情報技術を用いた課題解決について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

課題解決のために収集した情報を解釈し、自分の考え・意見をまとめ、分かりやすく伝え表現することができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々を受容し、情報技術を活用して地域が抱える課題の解決を行おうとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜					学校推薦型選抜							総合型選抜			外国人留学生選抜		
		前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠									
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	小論文	面接	大学入学共通ﾃｽﾄ	面接	小論文	面接	調査書	小論文	面接	調査書	活動報告書	1次 自己推薦書	2次 講義理解力試験	2次 面接	日本留学試験	小論文	面接
素点		700	150	50	700	200	150	100	50	160	100	60	80	100	200	100	総合的に評価する		
評価の比重(*1)		78	17	6	78	22	50	33	17	40	25	15	20	100	67	33			
評価の観点	《知識・技能》	○	○		○		○		○	○		○			○		○	○	○
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○		○	○		○	○	○	○	○	○			○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(4)　社会福祉学部 社会福祉学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

誰もが幸せに暮らせる社会の実現について他者とともに語らい、自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や社会に関心があり、他者を理解し共感しながら福祉社会の実現のために貢献しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜				学校推薦型選抜				総合型選抜		
		前期日程		後期日程		県内高校枠		地域貢献人材発掘枠				
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	面接	大学入学共通ﾃｽﾄ	面接	面接	調査書	面接	活動報告書	1次選抜 自己推薦書	2次選抜 個人ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	2次選抜 面接
素点		600	500	600	500	200	50	200	100	100	100	200
評価の比重(*1)		55	45	55	45	80	20	67	33	100	33	67
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○	○	○	○	○			○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○		○	○	○	○	○	○	○	○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(5)　看護栄養学部 看護学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

人をとりまく様々な現象にみずから疑問を持ち、事実をもとに自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や看護に関心があり、責任感や協調性を持って保健医療福祉のために貢献しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜					学校推薦型選抜					
		前期日程		後期日程			県内高校枠			地域貢献人材発掘枠		
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	面　接	大学入学共通ﾃｽﾄ	小論文	面　接	総合問題	面　接	調査書	総合問題	面　接	活動報告書
素点		700	200	500	200	200	250	200	50	250	100	100
評価の比重（*1）		78	22	56	22	22	50	40	10	56	22	22
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○			○		○	○		○	○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(6)　看護栄養学部 栄養学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、栄養管理の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

社会における様々な課題について多面的に考察し、自分の意見を論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

食と健康に関心があり、責任感や協調性を持って人々の健康福祉のために貢献しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入試種別		一般選抜				学校推薦型選抜			
		前期日程		後期日程		県内高校枠		地域貢献人材発掘枠	
選抜方法		大学入学共通ﾃｽﾄ	面　接	大学入学共通ﾃｽﾄ	面　接	面　接	調査書	面　接	活動報告書
素点		700	100	800	200	200	100	200	100
評価の比重（*1）		88	13	80	20	67	33	67	33
評価の観点	《知識・技能》	○		○		○	○	○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○		○	○	○	○	○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

３　入試区分・種別、募集人員

○　入試区分は、「一般選抜」、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜」、「外国人留学生選抜」とする。

○　「一般選抜」は「分離・分割方式」（前期日程・後期日程）により行う。

○　学校推薦型選抜は、「県内高校枠」及び「地域貢献人材発掘枠」とする。「県内高校枠」と「地域貢献人材発掘枠」との併願は認めない。

○　各入試種別の募集人員は以下のとおりとする。

学部	学科	入学定員	募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜	外国人留学生選抜
			前期日程	後期日程	県内高校枠	地域貢献人材発掘枠		
国際文化	国際文化	50	16	4	15	10	5	若干名
	文化創造	45	15	3	13	9	5	若干名
	情報社会（設置計画中）	40	12	3	12	8	5	若干名
社会福祉	社会福祉	87	30	7	24	17	9	－
看護栄養	看　護	55	23	5	22	5	－	－
	栄　養	42	20	2	12	8	－	－

*総合型選抜において、合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
*社会福祉学部では、外国人留学生選抜の募集はありません。
*看護栄養学部では、総合型選抜及び外国人留学生選抜の募集はありません。

４　入学者選抜方法等

【一般選抜】

全学科共通事項

○　各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。

○　調査書の記載内容は、面接の参考として利用する。

○　新教育課程（平成 30 年文部科学省告示第 68 号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修していない入学志願者に対しては、各学科の指定する教科の選択の範囲内において旧教育課程（平成 21 年文部科学省告示第 34 号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）による出題教科・科目での受験を認める。

学科別事項

(1) 国際文化学部　国際文化学科

《前期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［3 教科 3 科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目 (*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	350 (*3)	
個別学力検査	・小論文			200	300
	・面接「集団面接」			100	
評価基準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲・態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の小論文、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［3 教科 3 科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目 (*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	350 (*3)	
個別学力検査	・面接「集団面接」			200	200
評価基準	【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸問題への関心度とその原因や背景について追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」（200 点）に５/４を乗じたものを得点とする。

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング（100 点）に５/２を乗じたものとリスニング（100 点）の合計を得点とする。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング（100 点）の素点に７/２を乗じたものを得点とする。

(2) 国際文化学部 文化創造学科

《前期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［4 教科 4 科目又は 3 教科 4 科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択２科目 (*1)	200	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
個別学力検査	・小論文			150	200
	・面接「集団面接」			50	
評価基準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、個別学力検査の小論文の順に得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［4 教科 4 科目又は 3 教科 4 科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択２科目 (*1)	200	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
個別学力検査	・面接「個人面接」			200	200
評価基準	【面接】 個人面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。 ※個人面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、大学入学共通テストの「国語」の順に得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目から２科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の４教科のうち、地理歴史・公民から２科目のみ又は理科から２科目のみを受験し、他の３教科を受験していない場合は、第１解答科目、第２解答科目の得点を共に採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目を数学の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の４教科のうち、数学２科目のみを受験し、他の３教科を受験していない場合は、数学の２科目の得点を共に採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」（200 点）に５/４を乗じたものを得点とする。

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング（100 点）に２を乗じたものとリスニング（100 点）に１/２を乗じたものの合計を得点とする。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング（100 点）の素点に５/２を乗じたものを得点とする。

(3) 国際文化学部 情報社会学科（設置計画中）

《前期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［4教科4科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目 (*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」	必須	100	
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
個別学力検査	・小論文			150	200
	・面接「集団面接」			50	
評価基準	【小論文】 テクノロジーが持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、個別学力検査の小論文の順に得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［4教科4科目］	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目 (*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」	必須	100	
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
個別学力検査	・面接「集団ディスカッション」			200	200
評価基準	【面接】 集団ディスカッションを通じて、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲、他者の意見への理解力、傾聴力、みずからの意見の思考力、表現力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、大学入学共通テストの「情報」の順に得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」（200点）に５/４を乗じたものを得点とする。

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング（100点）に２を乗じたものとリスニング（100点）に１/２を乗じたものの合計を得点とする。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に５/２を乗じたものを得点とする。

(4) 社会福祉学部 社会福祉学科

《前期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［3教科3科目］	国語	「国語」	必須	200	600
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目(*1)	200(*2)	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・面接「集団面接」			500	500
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［3教科3科目］	国語	「国語」	必須	200	600
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目(*1)	200(*2)	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	情報	「情報Ⅰ」			
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」			500	500
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの選択科目（100 点）に２を乗じたものを得点とする。

(*3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100 点）の素点に２を乗じたものを得点とする。

(5) 看護栄養学部 看護学科

《前期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［5教科5科目］	国語	「国語」	必須	200	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目(*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択１科目(*1)	100	
	情報	「情報Ⅰ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択１科目(*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・面接「個人面接」			200	200
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［4教科4科目］	国語	「国語」	必須	100(*2)	500
	数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択１科目(*1)	100	
	情報	「情報Ⅰ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択１科目(*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・小論文			200	400
	・面接「個人面接」			200	
評価基準	【小論文】 看護の理論や実践を学ぶために必要な基礎的能力（理解力、読解力、論理的思考力、文章表現能力等）を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」（200 点）に１/２を乗じたものを得点とする。

(*3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100 点）の素点に２を乗じたものを得点とする。

(6) 看護栄養学部 栄養学科

《前期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［5教科5科目］	国語	「国語」	必須	200	700
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目(*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」	選択１科目(*1)	100	
	情報	「情報Ⅰ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択１科目(*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・面接　「集団面接」			100	100
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び勉学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

	教科	科目	必須／選択	配点	
大学入学共通テストの教科・科目［5教科5科目］	国語	「国語」	必須	200	800
	地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」	選択１科目(*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ，数学Ａ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」	選択１科目(*1)	150(*2)	
	情報	「情報Ⅰ」			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択１科目(*1)	150(*2)	
	外国語	「英語」	必須	200(*3)	
個別学力検査等	・面接　「集団面接」			200	200
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの選択科目（100 点）に３/２を乗じたものを得点とする。

(*3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100 点）の素点に２を乗じたものを得点とする。

【参考】一般選抜における大学入学共通テストの教科・科目選択について

１）■国際文化学部 国際文化学科・情報社会学科（設置計画中）
■社会福祉学部 社会福祉学科
■看護栄養学部 看護学科・栄養学科

指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

【国際文化学科の例（３教科３科目）】

教科	科目	大学指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴公民	第1解答科目	選択1科目	a 70			
	第2解答科目		90	×		②により除外する
数学	数学①から1科目		50	×		③により除外する
	数学②から1科目		b 60			
理科	第1解答科目		c 40			
	第2解答科目		60	×		②により除外する
情報	「情報Ⅰ」		d 80	○	80	a～dで最も得点の高い科目
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	150	得点に5/2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	80	
合計					510	

２）■国際文化学部 文化創造学科のみ

指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目から２科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は１教科とみなす。

②地理歴史・公民から２科目又は理科から２科目受験している場合、得点にかかわらず、第１解答科目の得点をその教科の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の４教科のうち、地理歴史・公民から２科目のみ又は理科から２科目のみを受験し、他の３教科を受験していない場合は、第１解答科目、第２解答科目の得点を共に採用する。

③数学から２科目を受験した場合、得点の高い科目を数学の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の４教科のうち、数学２科目のみを受験し、他の３教科を受験していない場合は、数学の２科目の得点を共に採用する。

【文化創造学科（４教科４科目（基本））の例】

教科	科目	指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴公民	第1解答科目	選択2科目	85			
	第2解答科目		90	×		②により除外する
数学	数学①から1科目		95	○	95	a～dで最も得点の高い科目
	数学②から1科目		88	×		③により除外する
理科	第1解答科目		90	○	90	a～dで2番目に得点の高い科目
	第2解答科目		40	×		②により除外する
情報	「情報Ⅰ」		60			
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	120	得点に2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	40	得点に1/2を乗じたもの
合計					545	

【文化創造学科（３教科４科目）の例】

教科	科目	指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴公民	第1解答科目	選択2科目	85	○	85	
	第2解答科目		90	○	90	②により採用する（他の教科を受験していない）
数学	数学①から1科目					
	数学②から1科目					
理科	第1解答科目					
	第2解答科目					
情報	「情報Ⅰ」					
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	120	得点に2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	40	得点に1/2を乗じたもの
合計					535	

【学校推薦型選抜】

Ⅰ　県内高校枠

全学科共通事項

○　県内高校枠は、山口県内に所在地のある高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を試験実施年度の３月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。
○　各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
○　調査書、推薦書及び志望理由書については、面接の参考として利用する。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

出願要件	次の１～５の全てに該当する者 １　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　**調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者** ４　国際文化学科に対し、適性を有する者 ５　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配　点	
試験科目等	・小論文	150	300
	・面接「集団面接」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評価基準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接（英語面接を含む）を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。 なお、英語面接では、英語で与えられた質問に対し、英語での応答と自己表現が求められる。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(2) 国際文化学部 文化創造学科

出願要件	次の１～５の全てに該当する者 １　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　**調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者** ４　文化創造学科に対し、適性を有する者 ５　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配　点	
試験科目等	・小論文	200	350
	・面接「集団面接」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評価基準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 ※集団面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(3) 国際文化学部 情報社会学科（設置計画中）

<table>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
３　調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.6 以上の者
４　情報社会学科に対し、適性を有する者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験科目等</td><td>・小論文</td><td>150</td><td rowspan="3">300</td></tr>
<tr><td>・面接「集団面接」</td><td>100</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・調査書（全体の学習成績の状況）</td><td>50</td></tr>
<tr><td>評 価 基 準</td><td colspan="3">【小論文】
テクノロジーが持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力及び表現力を点数化して評価する。
【面接】
集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。
【調査書】
「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

(4) 社会福祉学部 社会福祉学科

<table>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者
３　人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
４　学業成績優秀の者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td>試験科目等</td><td>・面接「集団ディスカッション・個人面接」</td><td>200</td><td rowspan="2">250</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・調査書（全体の学習成績の状況）</td><td>50</td></tr>
<tr><td>評 価 基 準</td><td colspan="3">【面接】
集団ディスカッションと個人面接を行う。
集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。
個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。
【調査書】
「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

(5) 看護栄養学部 看護学科

<table>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
３　調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者
４　看護学科に対し、適性を有する者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験科目等</td><td>・総合問題（国語、英語）</td><td>250</td><td rowspan="3">500</td></tr>
<tr><td>・面接「個人面接」</td><td>200</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・調査書（全体の学習成績の状況）</td><td>50</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="3">【総合問題】
看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化（国語 150 点、英語 100 点）して評価する。
【面接】
個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。
【調査書】
「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">総合問題及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

(6) 看護栄養学部 栄養学科

<table>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
３　調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.8 以上の者
４　栄養学科に対し、適性を有する者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td>試験科目等</td><td>・面接「集団ディスカッション・個人面接」</td><td>200</td><td rowspan="2">300</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・調査書（全体の学習成績の状況）</td><td>100</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="3">【面接】
集団ディスカッションと個人面接を行う。
集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。
個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。
【調査書】
「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

そ　の　他

合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。ただし、その結果によって合格を取り消すことはない。

また、合格者には、次のとおり入学前学習を課すこととする。詳細は合格発表後に合格者に案内する。

学校推薦型選抜（県内高校枠）合格者に課す入学前学習

科目名	実施学部・学科
英語	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中） 社会福祉学部：社会福祉学科 看護栄養学部：看護学科、栄養学科
数学	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中）

Ⅱ　地域貢献人材発掘枠

全学科共通事項

○　地域貢献人材発掘枠は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を試験実施年度の３月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。将来、地域の活力創出や健康づくりに貢献できるリーダーとして、活躍が期待される人材の発掘を目的とする。そのために、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等の過程、成果及び展望を積極的に評価する。

○　各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。

○　調査書、推薦書及び活動報告書については、面接の参考として利用する。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

出願要件	次の１～５の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を2025年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　以下のいずれかの条件を満たす者 ①　**調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、公民の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が２教科以上ある者** ②　**日本以外の国や地域に、小学校入学年齢以降に６カ月以上継続滞在した者** ４　国際文化学科に対し、適性を有する者 ５　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・小論文	150	400
	・面接「集団面接」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
	・活動報告書(*1)	100	
評価基準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接（英語面接を含む）を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及び地域の国際化に貢献しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。 なお、英語面接では、英語で与えられた質問に対し、英語での応答と自己表現が求められる。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(2) 国際文化学部 文化創造学科

評価基準	次の１～５の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を2025年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　**調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が２教科以上ある者** ４　文化創造学科に対し、適性を有する者 ５　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・小論文	200	400
	・面接「個人面接」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、成績のよい２つの教科の学習成績の状況）	20	
	・活動報告書(*2)	80	

評 価 基 準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 ※個人面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。 【調査書】 国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、成績のよい２つの教科の「学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。

(*1)「芸術」が開設されていない場合は、「美術」又は「音楽」を採用する。
(*2)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(3)国際文化学部 情報社会学科（設置計画中）

出 願 要 件	次の１～５の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を2025年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　**調査書の国語、外国語又は英語、数学、情報の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が２教科以上ある者** ４　情報社会学科に対し、適性を有する者 ５　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配　点	
試験科目等	・小論文	160	400
	・面接「集団ディスカッション」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（国語、外国語又は英語、数学、情報の中で、成績のよい２つの教科の学習成績の状況）	60	
	・活動報告書(*1)	80	
評 価 基 準	【小論文】 テクノロジーが持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団ディスカッションを行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 【調査書】 国語、外国語又は英語、数学、情報の中で、成績のよい２つの教科の「学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(4) 社会福祉学部 社会福祉学科

<table>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者
３　人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
４　学業成績優秀の者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td>試験科目等</td><td>・面接「集団ディスカッション・個人面接」</td><td>200</td><td rowspan="2">300</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・活動報告書(*1)</td><td>100</td></tr>
<tr><td>評 価 基 準</td><td colspan="3">【面接】
集団ディスカッションと個人面接を行う。
集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。
個人面接では、志望理由、社会福祉への関心や入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。
【活動報告書】
主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(5) 看護栄養学部 看護学科

<table>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="3">次の１～５の全てに該当する者
１　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者
２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者
３　調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者
４　看護学科に対し、適性を有する者
５　合格した場合は、必ず本学に入学する者</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価対象</td><td>配　点</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験科目等</td><td>・総合問題（国語、英語）</td><td>250</td><td rowspan="3">450</td></tr>
<tr><td>・面接「個人面接」</td><td>100</td></tr>
<tr><td>試験科目以外の評価の対象となる事項</td><td>・活動報告書(*1)</td><td>100</td></tr>
<tr><td>評 価 基 準</td><td colspan="3">【総合問題】
看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化（国語 150 点、英語 100 点）して評価する。
【面接】
個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。
【活動報告書】
主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td colspan="3">総合問題及び面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。</td></tr>
</table>

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(6) 看護栄養学部 栄養学科

出願要件	次の１～６の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 ３　**物理、化学、生物、地学のうち２科目を履修している者** ４　**調査書の理科の「教科の学習成績の状況」が 4.0 以上の者** ５　栄養学科に対し、適性を有する者 ６　合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配　点	
試験科目等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」	200	300
試験科目以外の評価の対象となる事項	・活動報告書(*1)	100	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

その他

合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。ただし、その結果によって合格を取り消すことはない。

また、合格者には、次のとおり入学前学習を課すこととする。詳細は合格発表後に合格者に案内する。

学校推薦型選抜（地域貢献人材発掘枠）合格者に課す入学前学習

科目名	実施学部・学科
英語	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中） 社会福祉学部：社会福祉学科 看護栄養学部：看護学科、栄養学科
数学	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中）

【総合型選抜】

国際文化学部・社会福祉学部 全学科共通事項

○　総合型選抜において、合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（前期日程）の募集人員に加える。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

出願要件		次の１～４の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　**調査書の外国語又は英語の「教科の学習成績の状況」が 4.0 以上の者** ３　国際文化学科に対し、適性を有する者 ４　**合格した場合は、必ず本学に入学する者**		
評価対象			配点	
一次選抜	試験科目以外の評価の対象となる事項	・自己推薦書	100	100
二次選抜(*1)	試験科目等	・講義理解力試験	200	300
		・面接「個人面接」(*2)	100	
評価基準		【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【講義理解力試験】 講義理解力試験では、本学教員が行う模擬講義を受講し、その内容についてレポートを作成する。作成したレポートに基づきプレゼンテーションを行い、レポート及びプレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、国際文化学科での学びに必要な思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。		
合否判定基準		一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、15 人程度とする。 二次選抜：講義理解力試験と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。		

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。
(*2) 二次選抜では、自己推薦書を面接時の参考とするが、評価の対象にはしない。

(2) 国際文化学部 文化創造学科

出願要件		次の１～４の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　**調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)、数学、情報の中で、「教科の学習成績の状況」が 3.7 以上の教科が２教科以上ある者** ３　文化創造学科に対し、適性を有する者 ４　**合格した場合は、必ず本学に入学する者**		
評価対象			配点	
一次選抜	試験科目以外の評価の対象となる事項	・自己推薦書	100	100
二次選抜(*2)	試験科目等	・個人プレゼンテーション	200	300
		・面接「集団面接」(*3)	100	
評価基準		【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 与えられた課題（文章、図表等も含む）について、その内容を理解し、みずからの考えをまとめた発表資料（文章および絵図など）を作成し、その資料に基づいてプレゼンテーションを行う。発表資料及びプレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。		

合否判定基準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、24 人程度とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。

(*1)「芸術」が開設されていない場合は、「美術」又は「音楽」を採用する。
(*2)二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。
(*3)二次選抜では、自己推薦書を面接時の参考とするが、評価の対象にはしない。

(3)国際文化学部 情報社会学科（設置計画中）

出願要件		次の１～４の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　**調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者** ３　情報社会学科に対し、適性を有する者 ４　**合格した場合は、必ず本学に入学する者**		
評価対象			配点	
一次選抜	試験科目以外の評価の対象となる事項	・自己推薦書	100	100
二次選抜(*1)	試験科目等	・講義理解力試験	200	300
		・面接「個人面接」(*2)	100	
評価基準		【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【講義理解力試験】 講義理解力試験では、本学教員が行う模擬講義を受講し、その内容についてレポートを作成する。作成したレポートに基づきプレゼンテーションを行い、レポート及びプレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、情報社会学科での学びに求められるテクノロジーへの理解及び情報概念への親和性、社会への態度などを身につけるための思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。		
合否判定基準		一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、15 人程度とする。 二次選抜：講義理解力試験と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。		

(*1)二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。
(*2)二次選抜では、自己推薦書を面接時の参考とするが、評価の対象にはしない。

(4)社会福祉学部 社会福祉学科

出願要件		次の１～４の全てに該当する者 １　全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校３年次を 2024 年３月に卒業（修了）した者又は 2025 年３月に卒業（修了）見込みの者 ２　**調査書の国語及び社会の「教科の学習成績の状況」が 3.5 以上の者** ３　社会福祉学科に対し、適性を有する者 ４　**合格した場合は、必ず本学に入学する者**		
評価対象			配点	
一次選抜	試験科目以外の評価の対象となる事項	・自己推薦書	100	100
二次選抜(*1)	試験科目等	・個人プレゼンテーション	100	300
		・面接「個人面接」(*2)	200	
評価基準		【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に地域貢献活動等に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は地域共生社会の実現にどのように貢献したいかという観点から、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 提示された課題に対し、その内容を理解し、みずからの考えをまとめ、個人プレゼンテーションを行う。個人プレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、社会福祉を学ぶ上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。		

合否判定基準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、18 人程度とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。

(*1) 二次選抜は、一次選抜の合格者のみに実施する。
(*2) 二次選抜では、自己推薦書及び個人プレゼンテーションの内容を面接時の参考とするが、評価の対象にはしない。

そ の 他

入学前学習として、合格者には、次のとおり入学前学習を課すこととする。詳細は合格発表後に合格者に案内する。

総合型選抜合格者に課す入学前学習

科目名	実施学部・学科
英語	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中） 社会福祉学部：社会福祉学科
数学	国際文化学部：国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科（設置計画中）